

smart bell

現状の問題

スマホの増加により、イヤフォンを耳にしたまま歩く人や歩きスマホをする人が増加している

耳が遠くなっている高齢者が増加している

耳にイヤフォンをしたまま、自転車に乗る人がいるので、周りの音に気づかない人がいる

→今のベルでは、十分に歩行者に自転車の存在を知らせることができていない

解決方法

自転車のベルを電子化し、人間の声が発せるようにする。そうすることで、注意かきちゃんと自転車の方に向く(例)「すいませーん」「通りまーす」

イヤホンではなく、自転車のベルから音が鳴る、つまり音楽が流れるようになれば、きちんと周りの音が聞こえる

→apple musicやspotifyなどをbluetoothで音楽を流せるようにする

機能

いちいちスマホで地図を開くのではなく、ベルから案内の声が出るようになれば、安全に運転することができる。

→グーグルマップの音声機能をつける

ベルにスマートスピーカーの機能をつけることで、自転車をiot化することが可能になる。

また、GPSをつけることで、自転車がどこに行くのか、どの店に自転車で行くことが多いのか、などのデータを集めることができ、様々な自転車のデータのプラットフォームになることができる。

大いなる目標

スマホ時代に特化した自転車のベルを提供し、自転車衝突事故をなくす

自転車にインターネットをつなぐ

外装案→

